

2022年3月18日
学校法人トヨタ学園 理事長 増田 義彦

豊田工業大学 2021年度卒業生のみなさんへ

豊田工業大学の学部を卒業された皆さん、大学院の修士課程を修了された皆さん、博士課程を修了された方々、おめでとうございます、心よりお祝いを申し上げます。今日、晴れの日を迎えることができましたのは、皆さん一人一人の弛まぬ努力の賜物であります、心から敬意を表したいと思います。また、それと同時に、長い間ご指導いただいた先生方や諸先輩、さらには、派遣企業の皆様、そして保護者の方々など、本当に多くの人々に支えられて、卒業を迎えることができたことに感謝を忘れないで頂きたいと思います。

今年度は、感染のリスクに配慮しながらも対面での授業を再開し、一方で同時にオンラインでの受講が可能な新しい授業形態を実施しました。学生の皆さんには経験のない環境で勉学、研究に励んでいただき、卒業論文、修士論文、博士論文をまとめられ、めでたく学位授与されたことに、改めてお祝いを申し上げたいと思います。

新型コロナウイルスによるパンデミックは、世界中を人、モノが大量に移動するグローバル化した社会がその背景になっています。一地域で起きたことが全世界に短期間に波及する地球規模でつながった社会に、今はなっているということを実感します。また、世界全体の人々の活動は多くのエネルギーや資源を使っており、地球環境へ重大な影響を与えるレベルとなっていることが明確になっています。今後の社会の持続可能な発展のためには、地球のサイズと自然の連鎖をしっかりと意識した、これまでとは違った新しい技術導入や経済活動が必要になっています。

豊田工業大学の建学の理念は「研究と創造に心を致し、常に時流に先んずべし」です。この理念のもと、産業分野の発展に役立つ基礎力、実践力、創造力を、皆さんはこの大学で身に付けてきました。これらの、本学で培った知恵や創造力と行動力を生かして、新しい時代の担い手として活動してくれるものと信じています。今、到来している大きく変革するに時代に、時流に先んじようという「志」を強く持って、大きく羽ばたいてほしいと思います。

これからの時代は、ひとりひとりが人として果たす役割がこれまで以上に重要になってきます。グローバルにつながった世界の一員として、何が社会に役立つことなのか、価値あることなのか、また、手に入れた情報は正しいものなのかなど、自分で考え判断する力がそこでは求められます。

ぜひ、人と人とのかかわりを大切にして、自分で考え判断する力の切磋琢磨をこれからの環境のなかでも続けていただきたく思います。

とりわけ、今の、ウクライナ情勢をみて、今後、世界の後戻りは無く、国際関係は大きく変容していくと思われまふ。改めて私たちが立脚している民主主義とは、資本主義とは、自分の国とは、自分はその構成員としてどうありたいのか、皆さん自身が思いを巡らせていただき、仲間と話をしてみてください。

本学は、日本の力による自動車事業を興した豊田喜一郎氏が抱いた、その事業が発展した折には大学を設立し社会・産業を支える人を育てたいとの強い想いを実現した大学です。本日は、その名前を冠した豊田喜一郎記念ホールで、2回目の卒業式、修了式を迎えております。本学は、昨年、開学40周年、博士課程開設25周年の節目でした。その時期に合わせて素晴らしい新キャンパスをトヨタ自動車はじめ多くの会社からのご寄付により一昨年、完成しています。

卒業生は既に3000人程度います。本学が、皆さんが育った学び舎として卒業生の方々の社会での発展を支援するために、同窓会活動や卒業生の参加できるイベントなどの充実を進めています。折に触れ、豊田工大のホームページにアクセスしてみてください。また、この4月からは、学内で開講されている講義をオンラインで皆さんが卒業後も受講できるようにしました。新たな領域へチャレンジする場合などの学びに活用できると思います。

最後になりますが、何事に際しても皆さんの体と心の健康がその基盤です。いろいろな困難や苦難に対処するときも健康第一をモットーとして乗り切ってください。卒業生のみなさんが、幅広く社会で活躍して戴くことを祈念して、私からのお祝いのメッセージと致します。

本日は、おめでとうございます。